平塚市

発行：平塚市市長室災害対策課
年月：令和４年（2022年）6月

金目川水系版

洪水ハザードマップ

このマップは、想定される最大規模の降雨（※）によって、金目川水系の河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域（洪水浸水想定区域）と、その浸水深の最大値を示しています。なお、マップに示した浸水想定区域以外でも、状況によっては浸水することもありますので、注意してください。

（※）詳細は欄外の「降雨量の想定条件」を確認してください。

- 水防法第１５条第３項の規定に基づく洪水ハザードマップです。
- 平成３１年（２０１９年）３月発行のマップについて、指定緊急避難場所等の情報を更新したもので、洪水浸水想定区域及び浸水深の想定に変更はありません。
- 相模川水系版は表面を確認してください。

知っておこう水害リスク！考えよう避難行動！

自宅の水害リスク

浸水深	□0.0m以上～0.5m未満 □0.5m以上～3.0m未満 □3.0m以上～5.0m未満 □5.0m以上
家屋倒壊等氾濫想定区域	□氾濫流の想定区域内 □河岸侵食の想定区域内 □想定区域外
浸水継続時間	□12時間未満 □12時間以上～1日未満 □1日以上～3日未満 □3日以上～1週間未満

避難の方法

【避難の判断】を参考にして、避難の方法を確認しましょう。

避難の方法	□屋内安全確保 □立ち退き避難（水平避難） □屋内安全確保（垂直避難）___階に避難

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所を確認しましょう。また、自宅から指定緊急避難場所までの経路や時間を実際に歩いて確認しましょう。

指定緊急避難場所		自宅～指定緊急避難場所までの時間	

【メモ】家族の連絡先や、避難時の持出品等について記入しておきましょう。

発令される避難情報

「いつ」「だれが」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理し、自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作ってみよう！

例）気象情報の収集をする。避難先、持ち出し品の再確認をする。

風雨が強くなる前の時期

警戒レベル３ 高齢者等避難 危険な場所から**高齢者等は避難**

高齢者や障がいのある方は
安全な場所へ避難！

例）避難を始める。／祖父・祖母をつれて●●へ避難する。

警戒レベル４ 避難指示 危険な場所から**全員避難**

避難場所、親戚・知人宅、浸水のおそれがない自宅の上階など、
安全な場所へ全員避難！

例）避難を完了させる。自宅の●階に垂直避難する。

Point 最初の情報として避難指示を知ったときの行動も考えておこう！

避難行動を開始する時期

警戒レベル４【避難指示】までに 危険な場所から**全員避難** **完了**

警戒レベル５ 緊急安全確保

命が危険な状況！
すでに災害が発生・切迫している状況。
ただちに安全確保！！

例）立ち退き避難がかえって危険な状態。命を守るための安全確保を！

Point 最初の情報として緊急安全確保を知ったときの行動も考えておこう！

命を守る行動をとるべき時期

早期立ち退き避難が必要な区域

長期間浸水する区域
▥ 3日以上浸水する区域

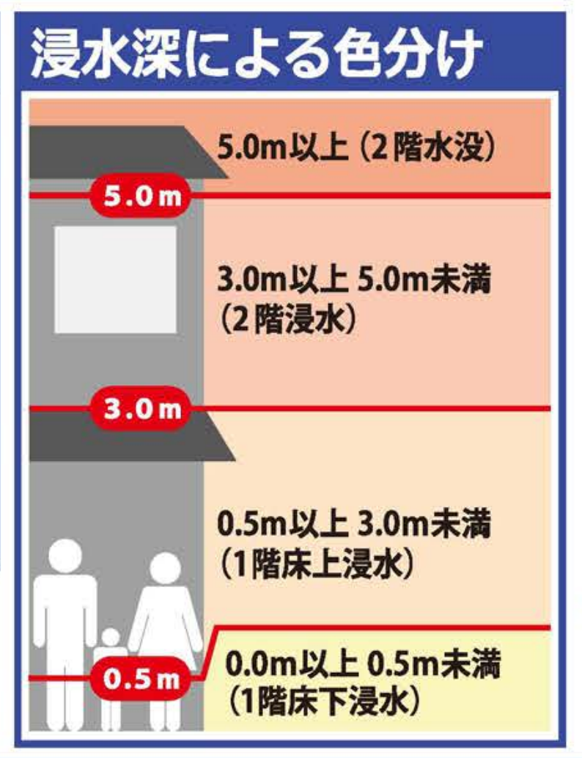
家屋倒壊等氾濫想定区域

▧ 氾濫流による区域
▨ 河岸侵食による区域

凡例

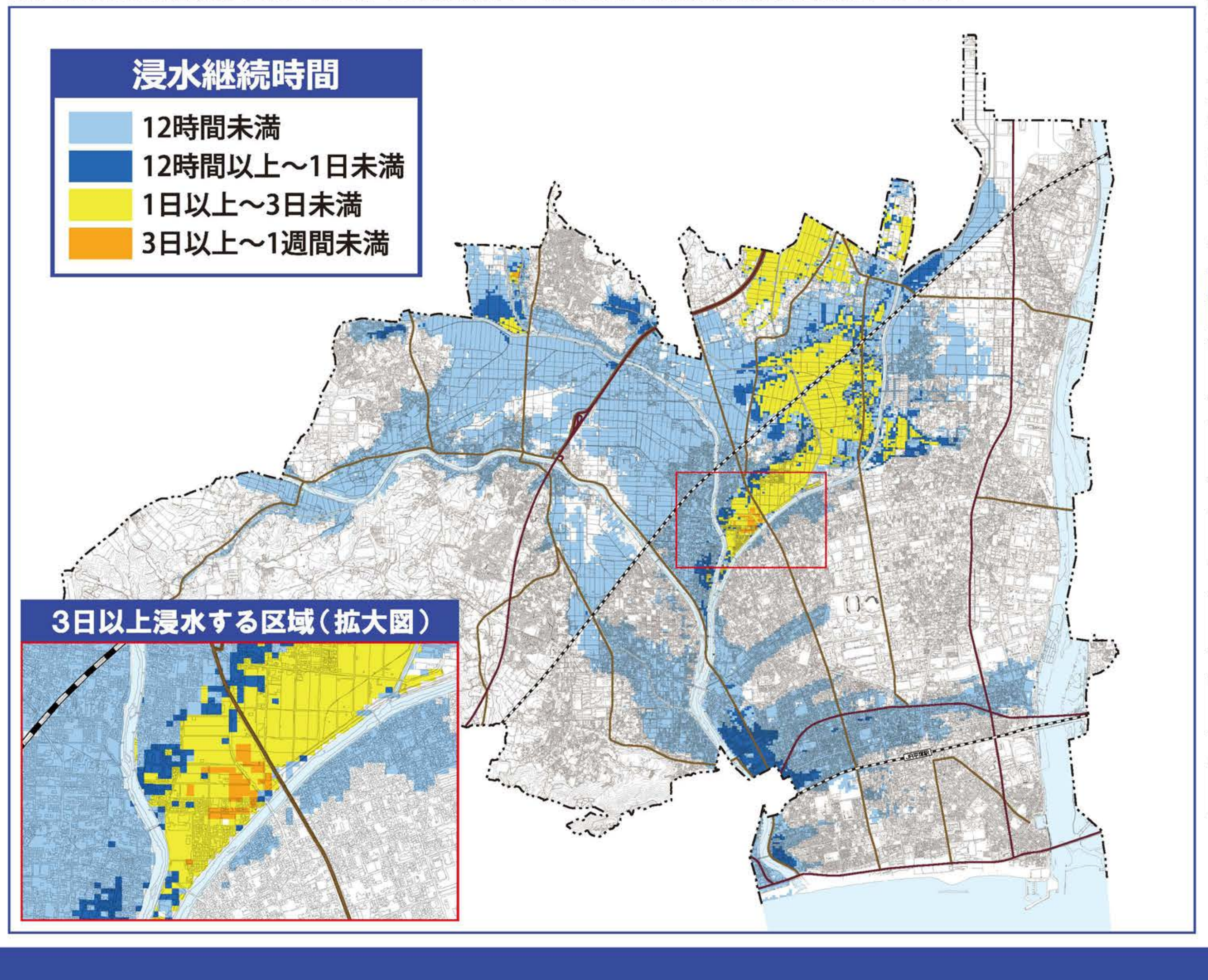
- 指定緊急避難場所
- ⊗ 警察署・交番・駐在所
- 消防署・出張所
- ✚ 救急病院 ● 公民館
- ☒ 緊急時危険箇所（地下道）
- 国道 県道
- －・－ 町丁目界 ━・・━ 市界

浸水深による色分け


5.0m以上（2階水没）
5.0m
3.0m以上 5.0m未満（2階浸水）
3.0m
0.5m以上 3.0m未満（1階床上浸水）
0.5m
0.0m以上 0.5m未満（1階床下浸水）

浸水継続時間

このマップは、想定される降雨によって、金目川水系の河川が氾濫した場合に、浸水深50cm以上（屋外への避難が困難となり、孤立するおそれのある深さ）に達してから、その浸水深を下回るまでにかかる時間の最大値を表示しています。


浸水継続時間
12時間未満
12時間以上～1日未満
1日以上～3日未満
3日以上～1週間未満
3日以上浸水する区域（拡大図）

指定緊急避難場所（洪水）

指定緊急避難場所（洪水）は、切迫した洪水の危険から一時的に逃れるための場所です。市からの避難情報が発令され、洪水による身の危険を感じた場合には、地図上に赤字で掲載されている、いずれかの指定緊急避難場所（洪水）などの安全な場所に避難してください。

指定緊急避難場所	住所	浸水深
太洋中学校	高浜台 7-1	0.0m
高浜高校	高浜台 8-1	0.0m
平塚競輪場	久領堤 5-1	0.0m
港小学校	夕陽ケ丘 22-1	0.0m
花水小学校	龍城ケ丘 5-62	0.0m
浜岳中学校	龍城ケ丘 4-26	0.0m
平塚工科高校	黒部丘 12-7	0.0m
なでしこ小学校	花水台 42-1	0.0m
大磯高校	大磯町東町 2-9-1	1.9m
富士見小学校	中里 10-1	0.8m
春日野中学校	中里 33-1	1.5m
旧平塚商業高校	中里 50-1	2.9m
平塚農商高校	達上ケ丘 10-10	0.0m
平塚江南高校	諏訪町 5-1	0.0m
崇善小学校	浅間町 4-3	0.0m
江陽中学校	浅間町 8-1	0.0m
松原小学校	天沼 7-10	0.2m
八幡小学校	東八幡 3-8-1	0.0m
神明中学校	四之宮 1-10-1	0.0m
大野小学校	東真土 2-1-1	0.0m
真土小学校	西真土 4-3-1	1.1m
松が丘小学校	東中原 1-12-2	0.0m
大野中学校	東中原 1-12-1	0.3m
中原小学校	御殿 2-8-9	0.0m
平塚中等教育学校	大原 1-13	0.8m
大原小学校	大原 1-14	0.0m
中原中学校	御殿 4-5-1	1.9m
南原小学校	南原 1-11-31	2.1m

指定緊急避難場所	住所	浸水深
神田中学校	田村 4-31-1	0.0m
相模小学校	大神 2434-1	0.0m
神田小学校	田村 6-1-1	0.0m
平塚湘風高校	田村 3-13-1	0.0m
横内中学校	横内 1948-3	0.1m
横内小学校	横内 2687	0.5m
城島小学校	小鍋島 608-3	0.1m
大住中学校	城所 649	0.4m
豊田小学校	豊田宮下 552	1.7m
岡崎小学校	岡崎 3430	0.0m
金田小学校	入野 514	1.8m
旭陵中学校	日向岡 2-9-1	0.0m
旭小学校	河内 307	0.4m
松延小学校	纒 226	0.2m
勝原小学校	高村 45	0.0m
山城中学校	高村 166	0.0m
山下小学校	山下 801-3	1.3m
金目小学校	南金目 907	1.2m
金旭中学校	広川 12	2.1m
みずほ小学校	北金目 2-39-1	2.8m
東海大学	北金目 4-1-1	0.0m
金目中学校	南金目 1013-2	1.2m
吉沢小学校	上吉沢 465	0.0m
土屋小学校	土屋 3004-2	0.0m
土沢中学校	土屋 2244	0.0m
子ども自立生活支援センター（きらり）	片岡 991-1	0.0m

※掲載している浸水深は、指定緊急避難場所の建物にかかる想定最大値を示しています。

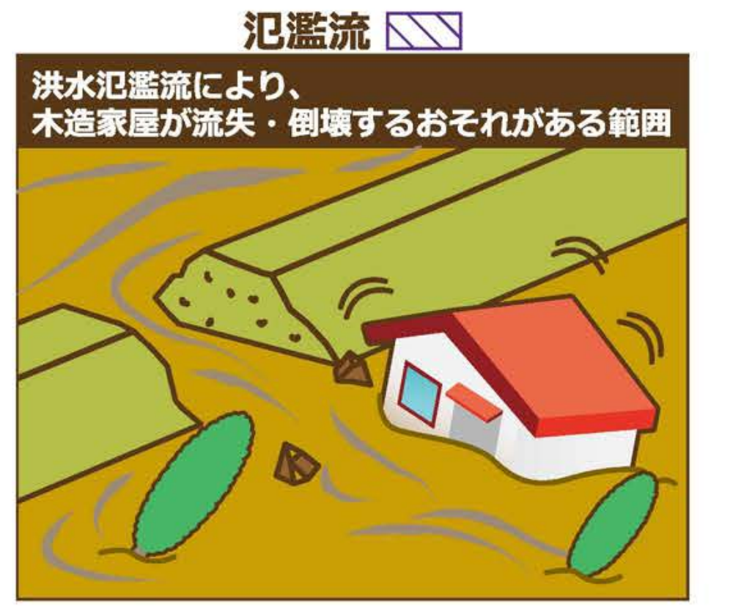
※降雨量の想定条件

神奈川県が公表した「洪水浸水想定区域図（想定最大規模）」を基に作成しています。
・金目川水系：３９６mm（２４時間総雨量）【平成３０年１月２６日告示】

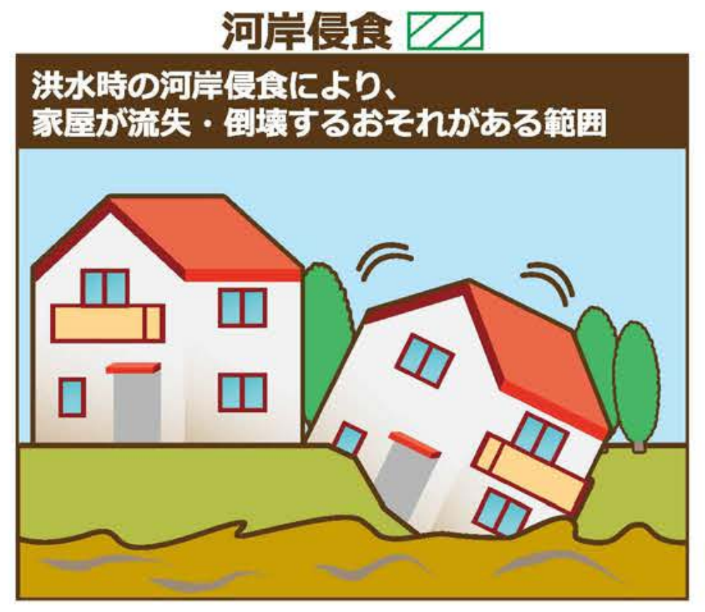
家屋倒壊等氾濫想定区域

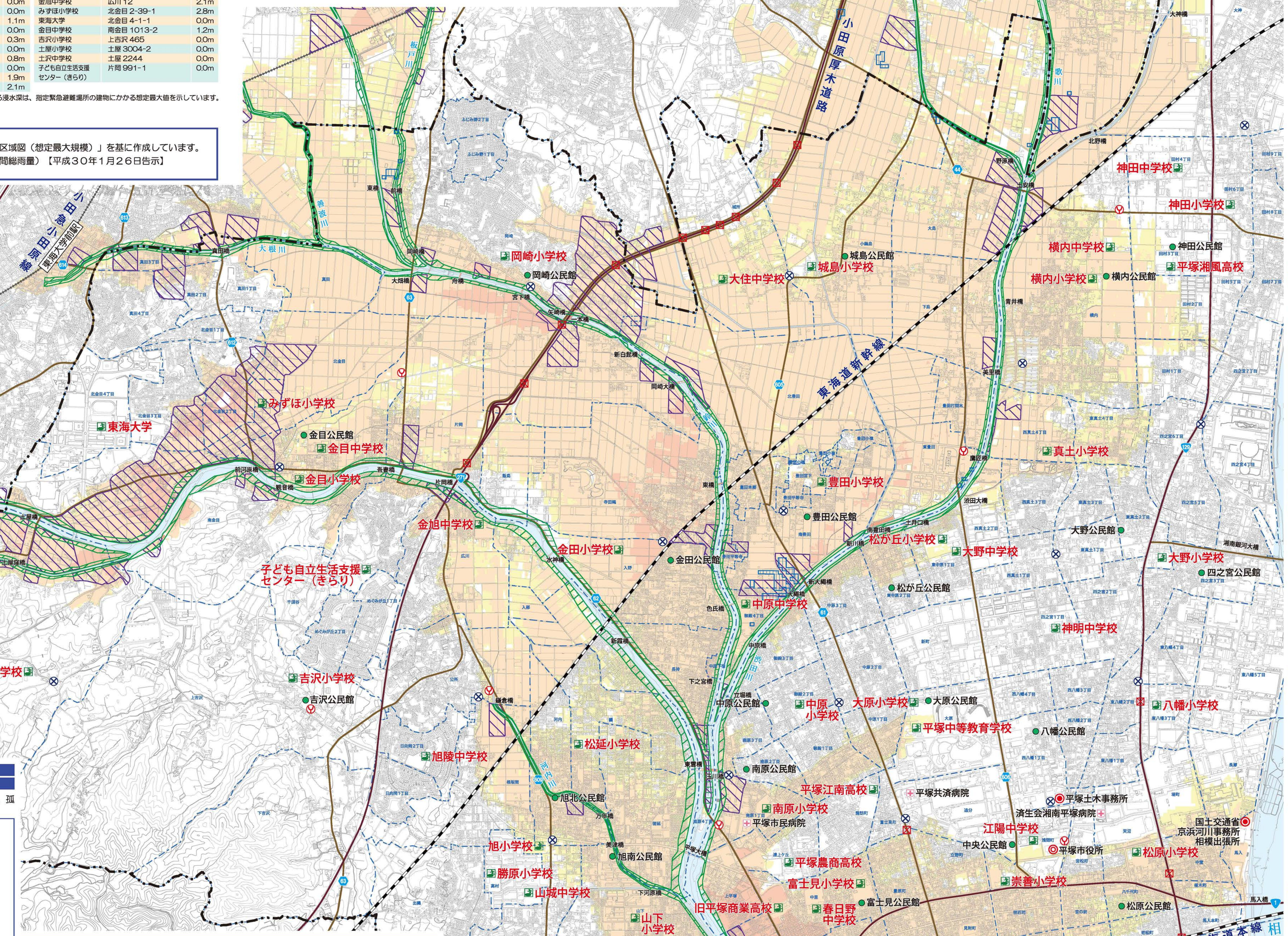
「想定し得る最大規模の降雨」により、付近の堤防が決壊等した場合に、一般的な建築物が倒壊・流出する等の危険性が高い区域を示すものです。この区域では、屋内安全確保（垂直避難）ではなく、指定緊急避難場所等へ早期の立ち退き避難（水平避難）の必要性を判断することが求められます。「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、氾濫流によるものと河岸侵食によるものとがあります。

氾濫流 ▧

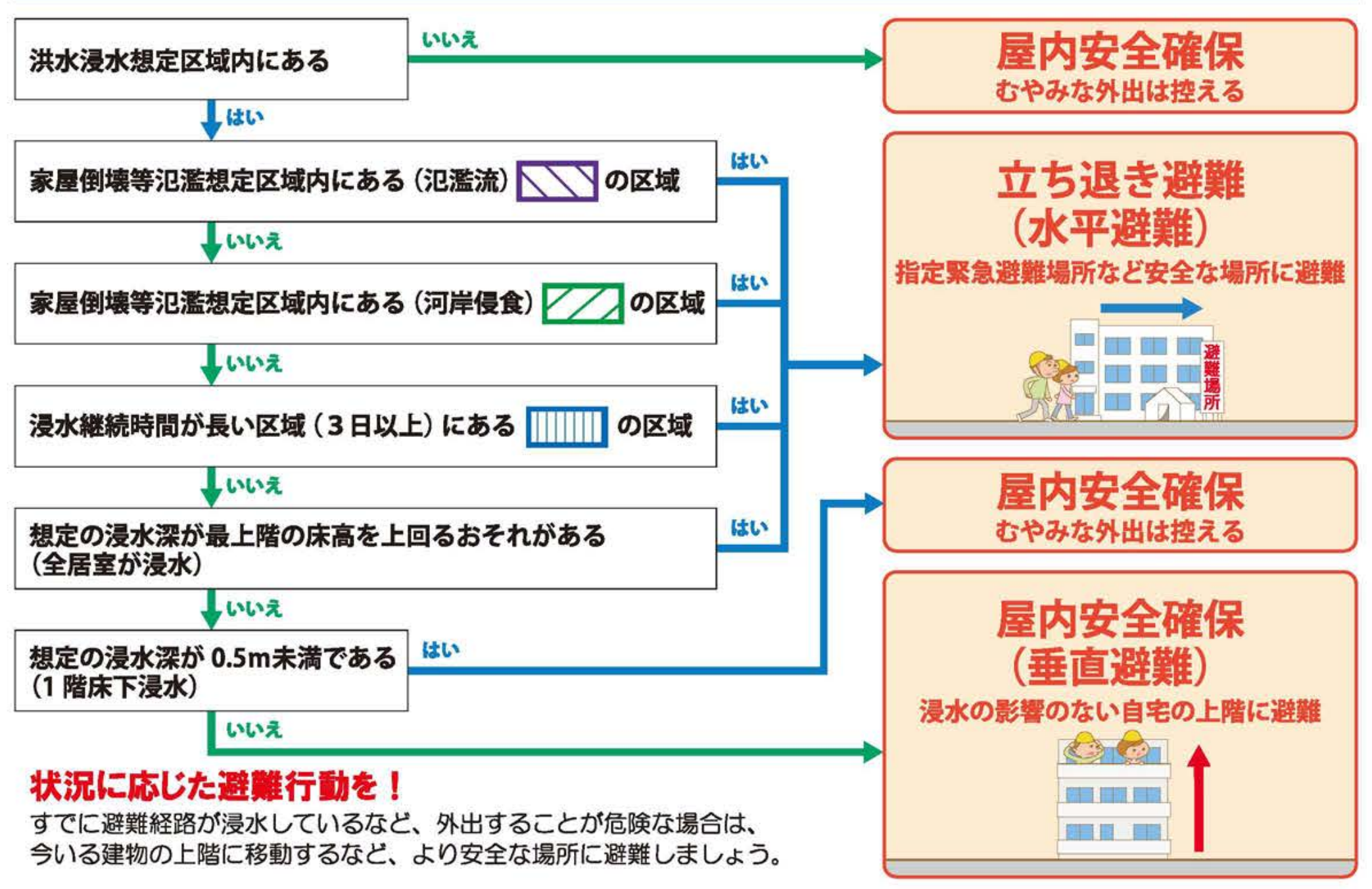

洪水氾濫流により、
木造家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲

河岸侵食 ▨


洪水時の河岸侵食により、
家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲


相模小学校
大神公民館
神田中学校
神田小学校
神田公民館
平塚湘風高校
横内中学校
横内小学校
横内公民館
城島小学校
城島公民館
大住中学校
岡崎小学校
岡崎公民館
みずほ小学校
東海大学
金目公民館
金目中学校
金目小学校
金旭中学校
金田小学校
金田公民館
豊田小学校
豊田公民館
真土小学校
松が丘小学校
松が丘公民館
大野中学校
大野公民館
大野小学校
四之宮公民館
中原中学校
神明中学校
子ども自立生活支援センター（きらり）
土屋公民館
土屋小学校
土沢中学校
吉沢小学校
吉沢公民館
中原小学校
中原公民館
大原小学校
大原公民館
平塚中等教育学校
八幡小学校
八幡公民館
旭陵中学校
松延小学校
南原公民館
平塚江南高校
南原小学校
平塚共済病院
平塚市民病院
平塚土木事務所
済生会湘南平塚病院
江陽中学校
中央公民館
平塚市役所
松原小学校
旭北公民館
旭小学校
旭南公民館
勝原小学校
山城中学校
平塚農商高校
富士見小学校
崇善小学校
旧平塚商業高校
春日野中学校
富士見公民館
山下小学校
崇善公民館
松原公民館
東海道本線
JR平塚駅
相模川
平塚競輪場
須賀公民館
平塚工科高校
港小学校
花水公民館
浜岳中学校
花水小学校
太洋中学校
高浜高校
金目川
なでしこ公民館
なでしこ小学校
大磯高校
小田原厚木道路
東海道新幹線
小田急小田原線
東海大学前駅
板戸川
縮尺 1/15,000
0 0.25 0.5 0.75 1 2 km

避難の判断



- 洪水浸水想定区域内にある
  - いいえ → **屋内安全確保** むやみな外出は控える
  - はい ↓
- 家屋倒壊等氾濫想定区域内にある（氾濫流）▧ の区域
  - はい → **立ち退き避難（水平避難）** 指定緊急避難場所など安全な場所に避難
  - いいえ ↓
- 家屋倒壊等氾濫想定区域内にある（河岸侵食）▨ の区域
  - はい → **立ち退き避難（水平避難）**
  - いいえ ↓
- 浸水継続時間が長い区域（３日以上）にある ▥ の区域
  - はい → **立ち退き避難（水平避難）**
  - いいえ ↓
- 想定の浸水深が最上階の床高を上回るおそれがある（全居室が浸水）
  - はい → **立ち退き避難（水平避難）**
  - いいえ ↓
- 想定の浸水深が 0.5m未満である（1 階床下浸水）
  - はい → **屋内安全確保** むやみな外出は控える
  - いいえ → **屋内安全確保（垂直避難）** 浸水の影響のない自宅の上階に避難

状況に応じた避難行動を！

すでに避難経路が浸水しているなど、外出することが危険な場合は、今いる建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難しましょう。

情報の入手先

国・県・市では、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて防災・災害情報、気象情報を発信しています。積極的に情報を入手し、「早めの避難」「落ち着いた行動」を心がけましょう。

●平塚市ウェブサイト

平塚市　災害対策課 検索
平塚市の防災・災害対策についてお知らせしています。

ひらつか防災気象ウェブ 検索
平塚市のこれからのお天気や、水位・雨量情報などを確認できます。

●ほっとメールひらつか

ほっとメールひらつか 検索
平塚市地震風水害情報をパソコンや携帯電話に電子メールで配信します。（要登録）

●twitter（平塚市市長室危機管理課・災害対策課）

twitter 防災ひらつか 検索
【アカウント】@HiratsukaBosai
災害時の情報発信のほか、平塚市の危機管理に関する情報を発信します。

●平塚市公式 LINE

平塚市公式　LINE 検索
防災行政無線の放送内容や災害情報等を LINE で受け取ることができます。
お友だち登録後に「受信設定」から「防災行政無線・災害情報等」を選択してください。

●ラジオ・テレビ放送

FM湘南ナパサ（周波数78.3MHz）や湘南ケーブルネットワーク（SCN）を通じて防災番組や災害時の緊急放送・文字情報での情報提供を行います。

●ひらつかわくわくマップ

ひらつかわくわくマップ 検索
平塚市が保有する情報を市民の皆さんへ提供するサービスです。
各種ハザードマップの情報や、洪水の浸水到達時間等が確認できます。

●平塚市　バカンマップス

平塚市　バカンマップス 検索
市が災害時に避難所を開設する際、避難所の開設・混雑情報配信サービス「VACAN Maps（バカン マップス）」により、避難所の場所や、混み具合をスマートフォン等で確認できます。

●防災行政無線

屋外にあるスピーカーから、避難に関する情報などをお知らせするものです。

●テレフォンガイド（利用には通話料がかかります。）

１時間以内に限り、防災行政無線で放送した内容を確認することができます。

0180-99-4956 / 0463-22-4956（至急コール）

●国・県の提供する情報

気象庁 検索
天気予報や気象の警報・注意報、台風情報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報などの災害情報を配信します。

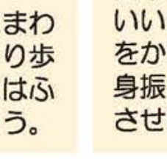
神奈川県　雨量水位情報 検索
神奈川県内の雨量水位の情報を配信します。

要配慮者への支援

突然の災害に見舞われたとき、避難行動や言葉の理解などで大きなハンデを負うのは、高齢者や子ども、障がい者、傷病者、外国人などの要配慮者です。日ごろからコミュニケーションをとりあって、災害時には積極的に声をかけあい、相手に適した誘導方法で早めの避難ができるよう、協力しましょう。

耳の不自由な方

相手の近くで、まっすぐ顔を向け、口を大きく動かして話しましょう。筆談や、身振り手振りで情報を伝えましょう。



目の不自由な方

杖を持っていない側にまわり、腕を貸してゆっくり歩きましょう。盲導犬にはふれないようにしましょう。

高齢者

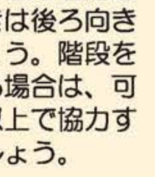
高齢で体が不自由な方には、腕を貸すか、ロープなどを使い、背負うなどして避難しましょう。その際には、複数の人で協力しましょう。

外国人

日本語でもいいので声をかけたり、身振り手振りで伝え、孤立させないようにしましょう。

妊婦・乳幼児

妊婦や乳幼児の体調に気を配りましょう。状況に応じて腕を貸すなど必要な支援をしましょう。



車いす利用者

坂道を上がるときは前向きで、降りるときは後ろ向きで避難しましょう。階段をのぼり降りする場合は、可能な限り３人以上で協力するようにしましょう。

避難するときの注意点

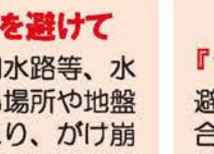
日ごろからいざというときのことを考えておきましょう。そして、災害時には慌てず落ち着いた行動をとることができるよう避難するときに気をつけるべきことを覚えておきましょう。

基本は徒歩

浸水深が30cm以上では車の走行が困難になるため、できるだけ徒歩で避難しましょう。また、大雨の中、徒歩で避難するのは危険なため、早めの避難を検討しましょう。

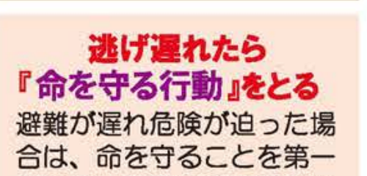
動きやすい格好　声をかけ合って避難

動きやすい格好で、近所で声をかけ合い、複数人で避難しましょう。
紐でしっかり締められる運動靴を履きましょう。
長靴は、中に水が入ると重くなり動きにくくなります。



足元に注意しましょう

足元が見えにくい場合は、蓋がはずれたマンホールや側溝等に落ちないよう、棒や杖等で確認しながら歩きましょう。



感染症対策を考えた避難をしましょう

避難場所は多くの人が避難するため、3密（密閉・密集・密接）の環境が予想されます。避難時はマスクをし、避難場所ではソーシャルディスタンスの確保を心がけるなどの対策をお願いします。

危険な場所を避けて

河川敷や橋、用水路等、水があふれやすい場所や地盤の緩みなどにより、がけ崩れが起こりやすい場所を避けて避難しましょう。

逃げ遅れたら『命を守る行動』をとる

避難が遅れ危険が迫った場合は、命を守ることを第一に考え、自宅の２階以上や近所の建物の上階などに急いで避難しましょう。

非常持出品・家庭内備蓄品の準備

災害の備えとして食料、飲料水、生活必需品などは、自分自身で用意することが原則です。避難時に最優先で持ち出す「非常持出品」をリュックサックなどに入れ、すぐに持ち出せる場所に準備しておきましょう。また、自宅で避難生活を送ることになった場合に備えて、浸水の影響が少ない上階などに、「家庭内備蓄品」を準備しましょう。日常的に必要となるもの（常備薬・医療器具等）も備えておきましょう。

荷物の目安 成人男性 15kg
荷物の目安 成人女性 10kg
1人当たり 7日分 程度

連絡手段

災害時は電話がつながりにくくなります。災害時の連絡方法として「誰に連絡をするか」「どのような連絡方法があるか」など、家族みんなで確認をしておきましょう。

登録 災害用伝言ダイヤル「171」/ web「171」

NTTでは、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況の際に、電話やインターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板を提供します。

伝言の登録方法

電話：171にダイヤル → （暗証番号なし）「1」／（暗証番号あり）※「3」 → （市外局番）+電話番号 → 伝言を録音

Web：web171.jpにアクセス → 電話番号を入力 → 登録ボタン → 名前/安否/伝言を登録

伝言の確認方法

電話：171にダイヤル → （暗証番号なし）「2」／（暗証番号あり）※「4」 → （市外局番）+電話番号 → 伝言の再生

Web：web171.jpにアクセス → 電話番号を入力 → 確認ボタン → 伝言内容の確認

※あらかじめ、4桁の暗証番号を決めておくと便利です

登録 災害用伝言板

災害時に各携帯電話会社が**「災害用伝言板」**を緊急開設します。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録や確認をすることができます。

「171・Web171」体験利用日

- 毎月1日・15日 ※9時～17時
- 1月1日～3日
- 8月30日～9月5日（防災週間）※
- 1月15日～21日（防災とボランティア週間）※